

令和8年度 大阪府立高津高等学校 第1回学校運営協議会 会議録

日 時：令和8年7月1日（水）15時10分～16時10分

場 所：本校校長室

出席者： 委員長 森田 英嗣（大阪教育大学 名誉教授）

委 員 西田 清盛（大阪市立高津中学校 校長）

上田 昇滋（本校同窓会 会長）

竹村 伍郎（NPO法人 まち・すまいづくり）

山崎 晃昭（近畿大学）

事務局 村田 知子（校長）、高田 裕介（教頭）、堀内 剛（事務長）、

井瀨 友輔（首席）、中原 章太（首席）、前川 紘紀（首席）

1 学校長あいさつ

校長、教頭、事務長の3名が変わったが、また新たな体制で学校運営を進めていきます。よろしくお願いいたします。

2 高田教頭より出席者紹介

森田委員長

校長先生から今年度の計画等についてご説明いただき、すべて終了しましたら質疑応答という形で進めてまいりますのでよろしくお願いします。

3 学校からの説明事項（村田校長より）

（1）令和7年度の振り返り

① 入学者選抜・進路実績

- 令和7年度入試の志願者倍率は、例年並みの水準を維持することができた。
- 78期生の進学実績について説明。

単年度ではやや低下したように見えるが、10年前・20年前の平均と比較すると着実に向上している。

浪人生が増加傾向にあるが、これは最後まで第一志望を諦めず挑戦した結果と捉えている。

② 学習支援の取組

- 学習合宿の満足度は高く、生徒アンケートでも好評であった。
- 自習室の利用者も多く、学習習慣の定着が見られる。

③ 広報活動

- 広報戦略委員会を設立し、学校紹介ポスターを制作・中学校へ配付した。
- 今後、中学1・2年生を対象とした学校説明会を2月頃に実施予定。

- SNS を活用した広報を推進するとともに、府から広報費の支援を受け、ショート動画を作成中。
- 読売テレビの取材を受ける予定。8月末～9月頃に放送予定である。
- 日経新聞の記事にもクリエイトラボが取り上げられ、同窓会並びに卒業生の方に感謝申しあげたい。

④ 他校・海外との連携

- インドの学校とのオンライン交流を実施。
- 他高校との交流を積極的に推進。
- GULS を活用した国際交流も実施している。

⑤ 学習・学校生活

- 「英語を非常によく運用できる」と回答する生徒の割合が減少傾向にある。
- 英語学習に対する意識にも変化が見られる。
- 安全・安心な学校づくりのため、昨年度以上に個別ケース会議を実施している。

(2) 令和8年度「学校経営計画」について
学校経営計画（案）の概要について説明。

(3) その他

3 質疑応答・協議

SSH について

(委員)

SSH 第4期の指定を受けるため、特に力を入れた取組は何か。

(教員)

第4期では、「学校内だけでなく地域や他校へ成果を波及・普及させること」が重要なテーマとなった。そのため、地域や他校への発信・交流を積極的に進める取組を行ってきた。

GULS について

(委員)

これまで国際交流センターで実施していた GULS を今年度は高津高校で実施しているが、運営上の問題はないか。

(教員)

他校の生徒も受講のために来校しているが、現在のところ大きな支障はなく、学校内で実施することにより円滑に運営できている。

日経新聞の活用について

(委員)

日経新聞に記事が取り上げられたとあったが、宣伝効果も高いし、数か月に1回程度の頻度で良いので連載できるようにするともっと魅力発信につながると思う。

働き方改革について

(委員)

教職員の働き方改革を進めながら、教育の質や教職員の満足度を高めるためには何が必要か。業務量を減らすだけでなく、業務内容そのものを効率化することが重要である。そのために、例えば学校で行っている業務の一部を同窓会へ移譲することなども検討してみては？

(教員)

今後の役割分担について検討していきたい。

広報活動について

(委員)

広報のターゲットを中学生だけでなく卒業生にも広げることで、学校の魅力発信につながるのではないかな。

(委員)

卒業生自身が「自分の子どもを通わせたい」と思える学校づくりが重要である。

(委員)

ポスターについては、他校にないデザインで、非常に特徴的でたくさん並んでいても埋もれない内容となっている。

業務改善について

(委員)

中学校では以下のような取り組みが行われている。

現在、

- ・ 留守番電話に加え録音機能を導入
- ・ 部活動指導員 34 名、部活動支援員を含めると 64 名の配置
- ・ デジタル採点

高津高校ではどのような取り組みをされているのか？

(教員)

- ・ オンラインでの情報共有を密にし、会議の数を減らしている
- ・ ICT 支援員の導入

ICT を活用した情報共有や業務改善を進めている。

学校説明会について

(委員)

中学 1・2 年生向け学校説明会の実施は非常に良い取組である。

英語教育について

(委員)

GTEC の運用がどのように変化してきたのか。

(教員)

GTEC→英検⇒TOEFL へと変化。TOEFL については、GLHS10 校で共通受験。

(委員)

なぜ英語運用能力が必要なのかを、生徒が実感できる取組が必要ではないか。

商社や外資系企業では英語が公用語となっている企業も多く、実際の社会で英語が必要となる場면을体験できるよう、職場訪問などの取組を工夫してはどうか。

次回協議会について

(教員)

次回は 11 月頃の開催を予定している。

中間報告を中心に協議を行う予定である。